

# 六 郷

○ひとりだちのできる たくましい生徒の育成  
○人権感覚豊かな 思いやりのある生徒の育成

学校便り 10月号  
令和3年10月11日  
松阪市立嬉野中学校  
校長 山下 隆久

## 充実した後期に！！

日ごとに秋の深まりを感じるこのごろ、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだ感染防止対策を継続しなければならない状況です。不安なことがありましたらぜひ学校にお伝えください。ご家庭と学校で不安なことを共有して、その中でも子どもたちのために何ができるかを保護者の皆様とともに学校は考えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

生徒のみなさん、コロナ禍で思うようにできなかったこともありますが、工夫して後期の活動を進めていきましょう。



さて、今年4月に小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について報告します。この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して成果と課題を明らかにし、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として実施されています。調査内容は、教科に関する調査として国語・数学、そして生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査です。調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、調査結果を教育の改善、生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であると考えています。

## 令和3年度全国学力学習状況調査「生活面の調査結果」

(◇ 良い点 ◆ 課題点)

- ◇ 毎日同じ時刻に起きる生徒が98%と全国・県より5%高く、良い生活習慣が身についている。
- ◇ 自分でやると決めたことはやり遂げる、失敗を恐れず挑戦している生徒の割合は多い。
- ◇ 困っている人を進んで助ける92%、人の役に立つ人間になりたい98%と多い。
- ◇ 学校の授業時間以外に読書をしている生徒の割合が全国・県に比べて高い。
- ◇ スマホや携帯電話の使用で、家の人と約束を守っている生徒割合が77%で、全国や県に比べると10%程度高い。
- ◇ 自分の思うこと感じることをきちんと言葉で表せると回答した生徒が全国・県に比べて多い。
- ◇ 地域や社会をよくするために何をすべきか考える生徒が全国・県に比べて多い。
- ◆ 朝食「あまり食べていない」「食べていない」の生徒が全国・県に比べて多い。
- ◆ 自分にはよいところがあると思っている生徒の割合70%で全国・県に比べ5%程度低い。
- ◆ 今住んでいる地域行事に参加していると回答した生徒は26%と全国より10%・県より5%高いが、地域行事に参加していないやどちらかというに参加していないが5割を超えている。
- ◆ 自分と違う意見について考えるのが楽しいと思える生徒の割合が全国・県に比べて少ない。





## 「学習状況に関する調査結果」

- ◇学習内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができたと思う割合が高く、全国・県に比べて5%以上高い。〈強み〉
- ◆生徒間で話し合う活動を生かして、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う生徒の割合が低く、全国・県に比べて5%以上低い。〈弱み（課題）〉

## 「教科に関する調査結果」

本校の平均正答率は、国語が全国の平均正答率と同等であったが、数学はやや下回っていた。「授業内容はよく分かる」の肯定的回答が、国語・数学とも全国や県平均を上回り、学習に向かう姿勢や理解は良好であるが、定着に工夫が必要である。



### 〈強み〉

- ◇国語では、「話す・聞く」「言語文化と国語の特質」の領域でよくできている。
- ◇数学では、「数と式」の領域で、計算や目的に応じて式を変形するなどの分野がよくできている。

### 〈弱み（課題）〉

- ◆国語では、文章に表れているものの見方や考え方を捉えて考えた自分の意見を、相手に効果的に伝えるように「書くこと」において課題がある。この問題は無回答率が34%と高い。
- ◆数学では、関数の理解と数学的に説明することに課題がある。
- 【なお個人により課題が異なります。3年生は個人調査結果票がありますので参考にしてください。】

## 今後の指導

- 授業のめあてを明らかにして、わかる授業の工夫を継続する。
- 授業の最後に学習したことを振り返る活動の充実を図る。
- 友達と協力するのは楽しいと回答する生徒(95%)の良さを活かした授業を展開してわかる授業づくりを継続する。
- 普段から文章やことば、式を用いて表現する言語活動を重視した授業づくりの充実を図る。
- 家庭や地域と連携して社会の出来事に関心を持つ姿勢を身につけさせる。
- ネットモラルについての指導や、インターネット、携帯電話スマホ等の利用時間や使用について一定のルールを設けるなどPTA組織や家庭との連携を引き続き行い、基本的な生活習慣について生徒自身に振り返らせる場をつくる。
- 対面で質問に応じたりオンライン活用等により補充学習を充実させて学習意欲を高める。
- 自主学習ノートを充実するなど復習の時間を確保させ、家庭学習の指導を丁寧に進める。
- 校区小学校と連携し、9年間を見据えた途切れない生徒支援をおこなう。
- 基礎・基本的な知識技能の定着と、その知識を応用する力の育成を図る教育活動を進める。



そのうえで「自分の良さに自信を持って、その良さを大切にしてください！」

このメッセージを生徒の一人ひとりに向けて伝え続けていきます。

保護者の皆様には、様々な機会を利用して、気軽に担任等に声をおかけいただければ幸いです。後期も変わらぬご支援・ご協力を、お願いいたします。